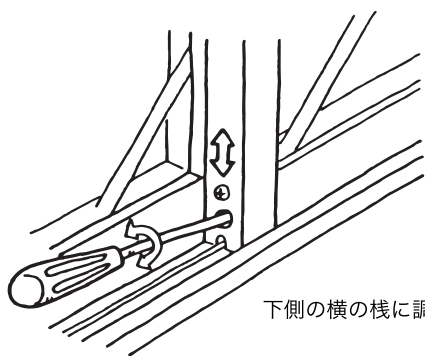


## 2. 居間

### 【サッシ】

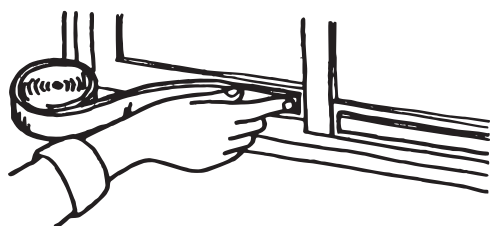
#### ◆建付の調整



下側の横の棧に調整ネジがある。

サッシは開閉の頻度が多いものです。年を経ると、多少のゆがみが出てきます。それが原因で開閉がスムーズにいかなくなります。このサッシのガタつきを直すには、サッシの下についている戸車を調整すると動くようになります。

#### ◆結露防止

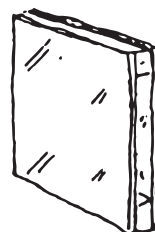


結露防止テープを窓枠の下の方に張る。

水分を含んだ結露テープは屋間にその水分を蒸発させている。

密閉性のよいサッシは騒音対策や寒さよけにはありがたいものですが、反面結露には困ります。結露防止対策には結露防止テープを窓枠の下部に貼るか本格的に複層ガラスに入れかえましょう。

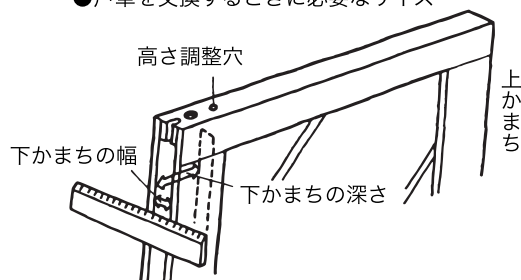
複層ガラス  
2枚のガラスの間に乾燥空気を密封したもの。省エネ、防音、結露防止に効果がある。



W1200×H1800 50,000円

#### ◆戸車の交換

●戸車を交換するときに必要なサイズ



小窓用



サッシの開閉が重い、スムーズに動かない状態になったら戸車の交換時期です。

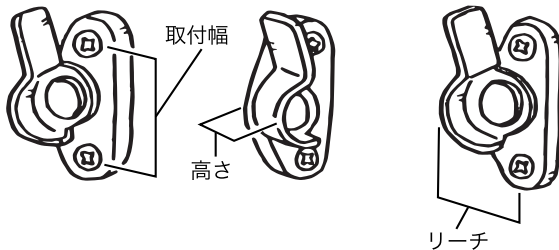
- ・高窓用 390円
- ・小窓用 780円
- ・浴室用 780円
- ・テラス用 1,030円
- ・玄関用 1,720円

取付目安時間 約1時間程度

(材料費)

## ◆クレセントの交換

- クレセントの交換に必要なサイズ



クレセントとは、アルミサッシの引き戸のカギのことをいいます。クレセントの内部にあるバネがダメになるとカチッと締まらなくなります。このような時はクレセントの交換時期です。

各メーカーにより多少値段の違いがあります。

1,400円(材料費)/1コ

## 【網戸】

### ◆掃除



サッシブラシ

ブラシで汚れを、ヘラでこびりついている汚れを取る。

- 網戸についた汚れ落とし

網戸の汚れをそのままにしておくと内側の窓ガラスまで曇ってしまいます。網戸の掃除方法は外側からホースで水をかけて汚れを落します。汚れを上手に落とすコツは、ホースの先端にノズルをつけ水圧を高めて扇状に水を出しながら網戸の上から下へ向けて斜めから網戸にかけ、汚れは洗車ブラシを使って落します。

- レールについた汚れ取り

レールについた汚れはプラスチックのサッシブラシのヘラの部分を使ってこそぎ落します。

### ◆穴の補修

張り替えほどでもない網目が2～3ヶ所切れているときは、透明のプラスチックテープを丸くカットして両面から貼り合わせて補修をしましょう。

### ◆張り替え

若葉の季節になると爽やかな風が部屋を吹き抜けていくのはとても気持ちがいいものです。でも網戸に穴が開いていたり裂けていたりすると虫などが入ってくる事があります。季節の変わり目には網戸も新しいものに張り替えましょう。

～H600	×W800	1,500円
～H900	×W800	1,700円
～H1,200	×W800	2,000円
～H1,800	×W800	2,500円
～H2,000	×W800	3,000円

その他、巾広の物は別途見積とする。  
ゴムビートの交換等も必要に応じて。

## ◆新規作成

～H600×W800	4,500円 / 1枚
～H900×W800	4,800円 / 1枚
～H1,200×W800	5,900円 / 1枚
～H1,800×W800	11,000円 / 1枚
～H2,000×W800	11,500円 / 1枚

## 【壁】

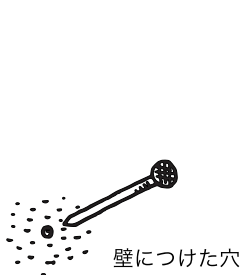
### ◆貼り替え

- 壁紙は日頃よく掃除をしてもホコリなどがついて黒ずんできたり痛みも目立ってきます。貼り替えてみると部屋全体の雰囲気も変わって気分のいいものです。

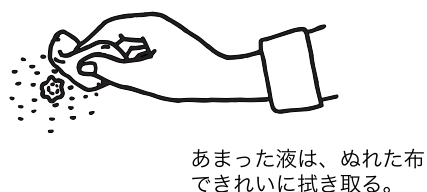
壁紙(クロス) ～1,450円/m

### ◆クロス壁の針穴の補修

- 壁につけた穴はいろいろあります。ピンやネジの穴、フックをつけてできた穴など気になり出すと目についていやなものです。この穴の補修はクロス専用の補修剤で手当てすれば簡単に補修ができ、きれいになります。



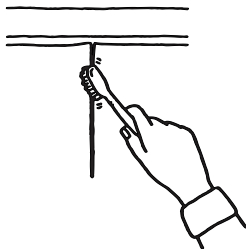
埋めたい穴のホコリや汚れを取り除く。



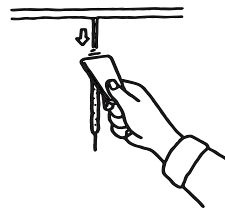
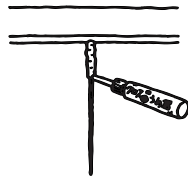
補修剤先端のノズルを穴にあて液を入れ、はみ出した余分なものは水を含ませ、固く絞った布で拭き取る。

## ◆クロス壁のすき間の補修

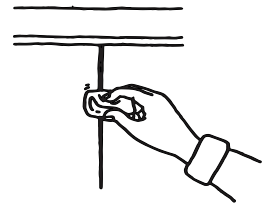
クロス継ぎ目のすき間は1ミリくらいでも下地が見えると気になります。



① 継ぎ目のホコリや汚れを取り、すき間に沿って補修剤をきれいに塗る。



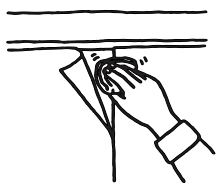
② ヘラで補修剤をすき取っていく。



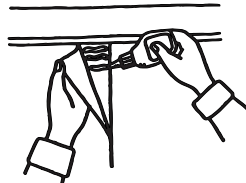
③ はみ出した補修剤はぬらした布で拭き取る。

## ◆クロス壁のめくれの補修

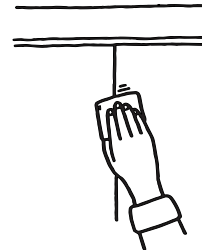
湿気のある壁面の壁紙はめくれてしまうことがよくあります。早いうちに手当てをすればきれいになります。(クロスが硬化するとなおりにくくなります。)



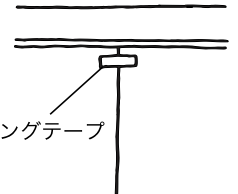
① 壁紙の接着面と壁の汚れをきれいに取る。



② 壁紙に接着剤を波形に塗り、中の空気を抜くように継ぎ目をしっかりと貼り合わせる。



③ はみ出した接着剤はぬらした布で拭き取る。



④ マスキングテープを貼っておく。

## 【床】

### ◆フローリング

#### ●キズの補修

フローリングは木のぬくもりが心地よく落ち着くのでしょう。人気はあがる一方ですが難点もあります。それはキズがつきやすいこと。椅子やテーブルを動かしてもキズがついてしまいます。キズ隠しにじゅうたんを敷いてしまうとフローリングのよさも半減します。つけてしまったキズはこまめに手当てしましょう。

#### ・塗装面だけのすりキズ

マニキュア補修剤の中から床材に近い色を選び木目にそって少しづつ塗っていきます。

#### ・引っかきキズや深いキズの場合

ドライヤーで補修用のクレヨン（カクレン棒）をやわらかくしてヘラでキズに埋め込み表面を整えましょう。

・焼きこげの補修

たばこの火が落ちたりしてフローリングに焼きこげをつくってしまうこともあります。このキズの補修も補修用クレヨンを使えば簡単に直ります。

※床材に合った色の調色のしかた

アルミ箔の上に必要量のクレヨンは何色か削りオーブントースターもしくはライターなどで熱を加えて溶かし合わせます。

●床鳴り補修

床鳴りの原因には床下材と床フローリングの間にスキ間が出来て音がすることがあります。初期手当てをしておくくと大事にいたらず出費も少なくて済みます。

## ◆クッションフロア

●焼きこげの補修

クッションフロアの欠点は熱に弱いこと。タバコの灰が落ちても溶けるようにこげてしまいます。

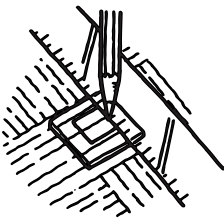


クッションフロアにできた焼きこげ



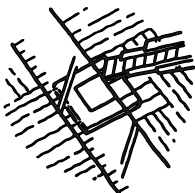
①補修用のクッションフロア材を焼きこげの上に重ねる。

- ・補修する箇所より2まわり以上大きめの補修用のクッションフロア材を用意し、焼きこげの上に重ねます。柄物であれば柄合わせをします。



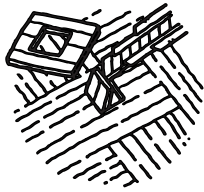
②布テープでフロア材を固定し、切り抜く部分にチャコペンで線を引く。

- ・布テープでクッションフロアを固定します。焼きこげよりひとまわり大きく切り抜く部分にチャコペンで線を引きます。



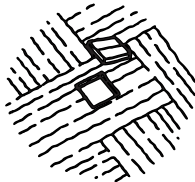
③カッターナイフで上下2枚を一緒に切る。

- ・定規を使ってカッターナイフを真すぐに入れて上下2枚のクッションフロアを一緒に切ります。上下が同じ大きさに切れないときれいにおさまらないので慎重に切りましょう。



④焼きこげた部分をカッターで取り除く。

・焼きこげた部分をカッターかスクレーパーで取り除きます。



⑤接着剤を塗ったフロア材をはめ込み、圧着する。

・そこへ接着剤を塗りカットしたクッションフロア材をはめこみ押さえつけます。



⑥はみ出した接着剤を拭き取り、継ぎ目にシームシーラーを塗る。

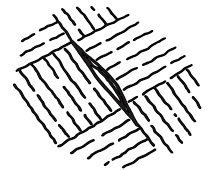
・はみ出した接着剤は固く絞った布でふきとり、斜めにシームシーラーを塗って溶着します。



同じクッションシート材がなければ普段見えない所のタンスの下などのものを使います。

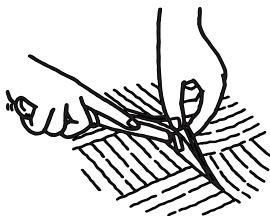
## ●はがれの補修

クッションフロアのはがれの補修はとても簡単です。  
はがれの小さいうちに直しておきます。



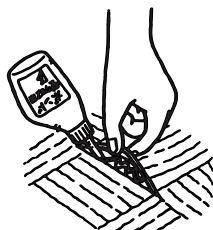
クッションフロアのめくれ部分

### ●補修のしかた



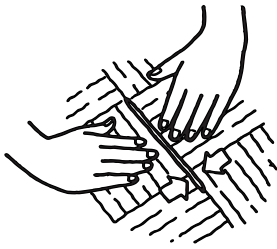
①スクレーパーで下地の床の汚れや接着剤を取り除く。

・はがれている箇所の下地の床についている接着剤や汚れをスクレーパーで取り除ききれいにします。



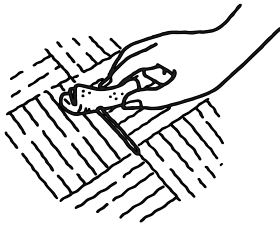
②接着剤を波形に塗る。

・接着剤を波形に塗りましょう。



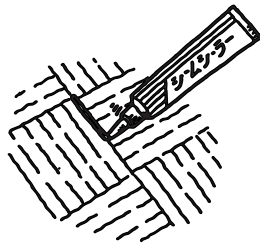
③継ぎ目に向かった両手で合わせるように押しつける。

- ・クッションフロアを継ぎ目方向に向けて模様を合わせながら力を入れて床に押しつけると余分な接着剤が出てきます。



④はみ出した接着剤を水で絞った布で拭き取る。

- ・水でぬらした布を固く絞ってはみ出した接着剤を拭きとります。



⑤シームシーラーで継ぎ目のすき間を埋める。

- ・最後にシームシーラーで継ぎ目を溶着します。



住まいの  
ワンポイント

固くなって平らにしにくいクッションフロアはドライヤーで温めると作業がしやすくなります。ただあてすぎると変形するので注意しましょう。

## ●クッションフロアの貼り替え

クッションフロアも10年以上経つと端の方はきれいでもふだん歩いてこすれる所は色もあせワックスをかけてもすっきりときれいにならない、そんな時は思い切って貼り替えましょう。

3,500円/m<sup>2</sup>

焼きこげやキズをつけたときの補修用にあまったシートは保存しておきましょう。クッションフロアの表面はキズや汚れがつきやすいので1ヶ月に一度くらいはワックスをかけておくとシートのライフサイクルがずっと違ってきます。